



札幌市立桑園小学校 学校だより
www. soen-e. sapporo-c. ed. jp
令和8年7月24日第3号
※帰宅時刻は17時です

かけがえのない「命」と「心」を守る夏休みに

保健主事

本格的な夏の暑さがやってきました。いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。まとまった時間がとれる長期休業は心身を大きく成長させる絶好の機会ですが、学校を離れるからこそ、子どもたち自身が「自分の命と健康を守る力」が問われる時期でもあります。

先日、今年度の水泳学習が無事に終了いたしました。今年は新たな試みとして、YMCA から外部講師をお招きし、専門的なご指導をいただきました。プロのコーチによる熱心な指導のもと、最初は水に苦手意識のあった子が満面の笑みで潜れるようになったり、自分の目標に向かって何度も挑戦したりと、プールには子どもたちの輝く姿と歓声が溢れていました。この学習を通して、子どもたちは水に親しむだけでなく、「きまりを守る大切さ」や「自分の泳力を知る」という、水難事故から身を守るための基礎をしっかりと学びました。夏休みは海や川へ出かける機会も増えますが、悲しい事故を防ぐため、「危険な場所には近づかない」「子どもだけで水辺に行かない」という約束をご家庭でも今一度お話しください。

そしてもう一つ、この夏休みに守りたいのが、子どもたちの「心の命」と「生活のリズム」です。学校という生活の区切りがなくなる休み中は、スマートフォンやインターネットへの依存、そこから派生するトラブルのリスクが跳ね上がります。本校では、依存の防止やトラブルから子どもたちの心を守るため、児童（生徒）同士でSNSでのやり取りなど推奨年齢に達していないアプリやゲーム等の使用を禁止としています。24時間いつでも誰かとつながり続けなければならない環境は、子どもたちの心に想像以上のプレッシャーを与え、夜更かしによる健康被害（夏バテや脳への負荷）を招くからです。ネットの世界の危険から身を守ること、水辺の危険から身を守ること、本質は同じです。ぜひこの機会に、学校のルールを再確認していただくとともに、使う時間や場所など「我が家のメディア・ルール」をお子様と話合ってみてください。「どうすれば安全に、健康に過ごせるか」を自分で考え、判断できる力を育てていきたいと考えています。水の事故に気を付け、ネットとも上手な距離を保ちながら、全員が元気に新学期を迎えられるよう、学校と家庭で温かく子どもたちを支えていきたいと思ひます。

児童からの発信コーナー 今回は8月23日に開催される「開拓まつり」に参加する児童から保護者・地域の皆さまへのメッセージです。クロムブックを使って子ども自身が文章を作成しています。

6年生による地域の紹介 ～開拓まつりに参加するにあたって～

6年生 開拓祭り参加者

私は8月23日の開拓まつりに小学校の代表として参加します。桑園碑は、明治8年庄内藩士の皆さんが一生涯懸命開墾し、耕し、桑の苗4万株を植えたことを長い時代を経ても忘れないように建てられたものです。私の祖父母は庄内藩士と同じ東北の秋田県にいます。母から、北海道を守ってくれた東北からの藩士の話を聞いたことがありました。北海道の北端稚内でも日本のため北海道のためにたくさんの人が来て守ってくれていたことを思い出しました。

この私が育った桑園もたくさんの皆さんが協力して作られた地であること、またそれを語り継ごうと開拓使の森さん家族、近所の身近な皆さんも協力して守ってきた歴史であることを知り大切にしなければいけないと思いました。桑園の開拓まつりがこれからも続いていくことを祈って、私も歴史を伝えていくひ